第4回地域医療に係る対策を検討する専門委員会次第

令和元年 11 月 21 日 (木) 午後 7 時~ 石岡市役所 2 階 201・202 会議室

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) 石岡地方医療対策カンファレンスへの報告書等について
- 4 その他
- 5 閉 会

専門委員会報告書

令和元年11月 地域医療に係る対策を検討する専門委員会

1 これまでの経緯

石岡市,かすみがうら市,小美玉市は,主に石岡市医師会が地域医療を担っている エリアに所在しています。3市の地域医療の課題等については,昨年度開催した「石 岡地域市民医療懇談会」の中で,3市の市長及び議長並びに市民代表者からなる議論 を地域住民への公開のもと,意見交換をしてまいりました。その結果,地域住民から は,『緊急診療の拡充』や『二次救急の充実』,『地元に産科・小児科を』などの意見が あり,医師不足をはじめとする地域医療の課題が明らかになりました。

こうした状況を受けて、今年度は、3市の市長と石岡地域の医療を担っている石岡市医師会の会長による任意の会合、「石岡地方医療対策カンファレンス」が開催され、地域医療の現状分析と今後目指すべき医療体制について専門的な検討が必要との合意がなされました。

地域医療に係る対策を検討する専門委員会は、その検討を行い、意見を集約してカンファレンスに提案することを目的として設置されたものです。委員は、地域医療を担っている医療関係者や行政、有識者の12名で構成されています。

これまでに、市民医療懇談会での意見や、県や医師会の協力のもと実施してきた石岡地域の医療の現状分析の結果等を踏まえ、石岡地域に必要な医療体制について、4回にわたり協議を重ね、具体的な方策として、複数病院の再編統合と病床の再配分を行うことが必要との結論を得ました。また、これらを別添の地域医療計画(案)としてまとめました。

地域医療に係る対策を検討する専門委員会 協議の経過

回数	日時	場所	議事
第1回	第1回 令和元年8月7日		石岡地域における医療の現状について
専門委員会 午後7時から午後9時まで 2階		2 階会議室	石岡地域における医療の課題の整理について
第2回 令和元年9月19日 石岡		石岡市役所本庁	石岡地域の医療課題に対する具体的な方策に
専門委員会	午後7時から午後8時30分まで	2 階会議室	ついて
第3回	令和元年 10 月 16 日	石岡市役所本庁	石岡地域の医療課題に対する具体的な方策に
専門委員会	午後7時から午後8時40分まで	2 階会議室	ついて
第4回	令和元年 11 月 21 日	石岡市役所本庁	石岡地方医療対策カンファレンスに提出する
専門委員会	午後7時から午後〇時まで	2 階会議室	報告書等について

2 まとめと今後の進め方について

石岡地域に必要な医療体制を整備するため、別添に示した「石岡地域医療計画 案」にもとづき、各事業を実施していく必要があります。

ただし、計画を進めるにあたり、国との協議や地域医療構想調整会議において議論を行う必要があり、その中で、計画の内容の変更を求められる可能性があることに留意する必要があります。

また,各事業は,地域に必要な医療体制を構築するために行うものであることから,市議会や市民の理解と協力を得ることや,地域の医療機関の連携を継続できることに留意する必要があります。

今後は、これらの留意事項や別添の「地域医療計画案」を踏まえ、石岡地域に必要な医療体制の整備のため、早急に対策を講じていかなければいけないことから、石岡市が主体的に事業の展開を図るとともに、かすみがうら市・小美玉市及び石岡市医師会など関係機関が連携協力し一丸となって、当該地域の医療対策に取り組む必要があると考えます。

地域医療に係る対策を検討する専門委員会の位置づけ

石岡地方医療対策カンファレンス

- ・目指すべき医療体制の方向性の提示
- ○委員構成
- 石岡市医師会長
- ・行政(3市)の首長



提案等



承認等

【平成30年度】

石岡地域市民 医療懇談会



【令和元年度】

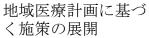
地域医療に係る対策を検討する専 門委員会

- ・地域医療の現状把握及び分析
- ・目指すべき医療体制を検討
- ⇒ 地域医療計画の策定

○委員構成

- 石岡市医師会代表
- 主な医療機関の代表者
- 外部アドバイザー

【令和2年度~】 地域医療計画に其



⇒石岡地域の目指す 医療体制の整備



地域医療に係る対策を検討する専門委員会委員名簿

敬称略

	Г		I	9人47.	_
	区分	所 属	役 職	氏名	備考
1	医師会	石岡市医師会	副会長	小林 雅人	
2		石岡市医師会病院	院長	石突 正文	
3	医療提供者 (石岡市)	石岡第一病院	院長	吉野 淨	
4		山王台病院	院長	幕内 幹男	
5	医療提供者	石岡循環器科脳神経 外科病院	院長	小林 博雄	
6	(小美玉市)	やまぐち医院 (石岡市医師会副会長)	院長	山口 典久	
7	医療提供者 (かすみがうら市)	太田医院 (石岡市医師会副会長)	院長	太田 仁	
8	地域医療有識者	城西大学	教授	伊関 友伸	
9		土浦保健所	所長	緒方 剛	会長
10	 	石岡市	保健福祉部長	小倉 俊彦	副会長
11	1.1 哎	小美玉市	保健衛生部長	倉田 増夫	
12		かすみがうら市	保健福祉部長	寺田 茂孝	

石岡地域医療計画(案)

一石岡地域に必要な医療体制について一

目 次

第1章	石岡地域における	る医療の岩	犬況	• •	•	•	•	• •	•	 •	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 1
(1) 7	「岡地域の人口構造	± • • •			•	•			•	 •	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 1
(2) 層	周辺及び3市内の言	Eな医療権	幾関		•	•			•	 •	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 2
(3) 市	「民の受療動向・				•	•			•	 •	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 6
(4) 求	枚急搬送等の実績・				•	•	•		•	 •	•	 •	•	•	•	•	•	•		•	•	•	• 7
(5) ∄	上な医療機関の状況	元・・・			•	•	•	• •	•	 •	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 9
第2章	石岡地域における	る医療の記	果題		•	•			•	 •	•	 •	•										10
	医療体制について・																						
(2) 爱	を療動向について・				•	•	•		•	 •	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	10
(3) 求	枚急体制について		• •	• •	•	•	•		•	 •	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	10
第3章	課題解決に向けた	と基本的な	な考	え力	î•	•	•		•	 •		 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•		11
	具体的な対策・																						
(1) 耳	立り組むべき時期 ご	ごとの対象	 •		•	•	•		•	 •	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	12
	憂先的に実施すべき																						
(3) 4	公立病院化の必要性	ŧ			•	•	•		•	 •	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	15
(4) 病	病院の再編統合と 編	ち床の再門	配分	によ	:る	効:	果,		•	 •	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	15
(5) 諄	果題や留意事項にへ	ついて・			•	•	•		•	 •	•	 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	15
資料編・					•																		16

第1章 石岡地域における医療の状況

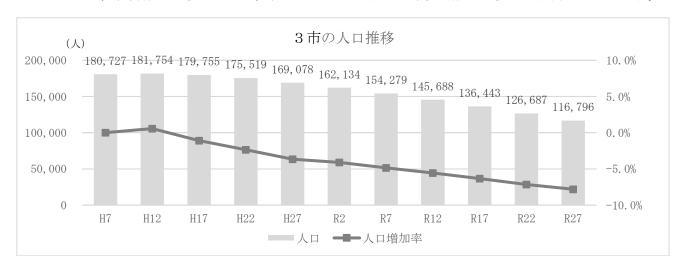
(1) 石岡地域の人口構造

① 前提とする考え方

本計画では、石岡市医師会管内である石岡市(石岡地区及び八郷地区)、かすみがうら市(千代田地区のみ)、小美玉市(玉里地区のみ)をあわせて石岡地域とします。患者数や病床等の将来的な動向を予測するには、人口統計に基づいた推計が必要です。人口推移については、国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」とする。)と、石岡地域の各市の人口ビジョンに掲出されている、出生率や社会減が解消されることを前提とした推計の2つのパターンが存在しています。本計画における人口推移については、茨城県地域医療構想との整合性をとるため、社人研の人口推計を基本的な前提として分析を行います。また、社人研の人口推計が市町村ごとの算出であることから、人口構造の分析等には石岡地域ではなく、石岡地域が含まれる石岡市、かすみがうら市、小美玉市の3市の総計で分析を行います。

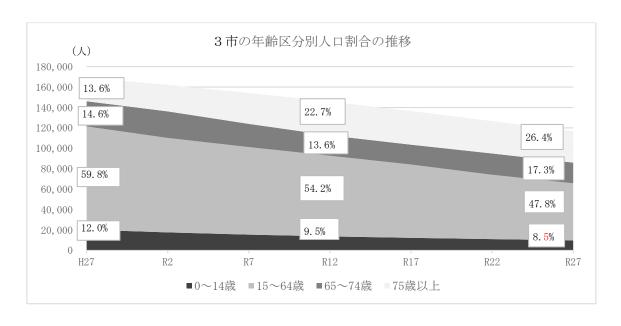
② 3市の人口推移

平成 27 年 10 月 1 日現在の人口は石岡市が 76,020 人,かすみがうら市が 42,147 人,小美玉市が 50,911 人で3市の総計で169,078 人です。石岡地域全体でみると平成12年の181,754人(市町村合併前の旧石岡市・旧八郷町・旧千代田町・旧霞ケ浦町・旧小川町・旧美野里町・旧玉里村の人口から算出)をピークに、以降減少を続けており、社人研の人口推計では今後も減少が続くと推測されています。



③ 年齢区分別人口の割合の推移

平成 27 年度の3市の年齢区分別人口構成は,15 歳未満人口が20,303人(総人口の12.0%),15~64 歳人口が101,076人(同59.8%),65 歳以上人口は47,699人(同28.2%)です。将来の人口推計では,15 歳未満人口及び15~64 歳人口の割合は減少し続ける見込みですが,65 歳以上人口の割合は増加し続け,令和27年には高齢者人口割合が40%を超えると推計されます。



(2) 周辺及び3市内(石岡市・かすみがうら市・小美玉市)の医療機関

① 十浦保健医療圏及び3市の医療機関

県内に9つある二次保健医療圏で見てみると、石岡市とかすみがうら市は、土浦保健医療圏に属し、小美玉市は水戸保健医療圏に属しています。土浦保健医療圏には、17の病院、13の有床診療所が存在します。石岡地域には11の病院及び8の有床診療所があります。病院は土浦市に8件、石岡市に9件、小美玉市に5件あり、うち、精神科病院を除く病院は土浦市に6件、石岡市に6件、小美玉市に4件あります。

土浦協同病院は,災害拠点病院やがん診療連携拠点病院,地域周産期母子医療センター,救命救急センター,小児救急医療拠点病院などの保健医療圏を越えた三次救急を担っています。石岡地域では,石岡市医師会病院,石岡第一病院,山王台病院,八郷整形外科内科病院,石岡循環器科脳神経外科病院の5病院が救急告示病院として二次救急を担っています。

医療機関数(令和元年10月1日現在)(括弧内は精神科病院を除いた件数)

	土浦保健医療圏	石岡地域	土浦市	石岡市	かすみがうら市	小美玉市
病院	17 (12)	11 (7)	8 (6)	9 (6)	0 (0)	5 (4)
有床診療所	13 (13)	8 (8)	6 (6)	6 (6)	1 (1)	6 (6)
無床診療所	131 (128)	40 (40)	88 (85)	29 (29)	14 (14)	28 (28)

出所: 茨城県保健福祉部医療局医療政策課 茨城県病院一覧及び茨城県診療所一覧

② 医療機関の立地状況

石岡地域の医療機関は石岡地区に病院が6件,診療所が32件,八郷地区に病院が3件,診療所が3件,於療所が3件,千代田地区に病院が0件,診療所が10件,玉里地区に病院が2件,診療所が3件あり,市街地及び市街地周辺に医療機関が集中しています。診療科で見ると,小児科を標榜する医療機関は16件で,平成30年1月以降,分娩できる医療機関はありません。また八郷地区については,3件ある病院すべて精神科の病院であり,他の地区と比較すると単位面積当たりの診療所の数も少なく,地域内の医療機能の偏在や医療機関へのアクセスが課題となっています。

③ 病床数の状況

3市の医療機関全体の許可病床数 (療養・一般) は全体で1,034 床あります。病床機能別では,急性期が427 床,回復期が42 床,慢性期526 床で,高度急性期病床は0床です。人口10万人当たりの病床数は茨城県全体で664.1 床に対し,石岡地域では380.7 床と県全体の水準を大きく下回っています。

3市の医療機関の病床数

(単位:床)

	医療機関名	所在	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	全体
	山王台病院	石岡市		52				52
	豊後荘病院	石岡市				100		100
	石岡市医師会病院	石岡市		75		45		120
	石岡第一病院	石岡市		86	40			126
	八郷整形外科内科病院	石岡市		26		80		106
病 院	久保田病院	石岡市				40		40
	旭台病院	石岡市				60		60
	小美玉市医療センター	小美玉市		41			39	80
	小川南病院	小美玉市				90		90
	美野里病院	小美玉市				111		111
	石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市		63				63
	山王台病院附属眼科・内科クリニック	石岡市		19				19
	山王台病院附属第一クリニック	石岡市		19				19
	山王台病院附属第二クリニック	石岡市		19				19
診療所	長尾眼科	石岡市		4				4
所	仲田耳鼻咽喉科医院	石岡市		1				1
	府中クリニック	石岡市		14				14
	三輪眼科	かすみがうら市			2			2
	小塙医院	小美玉市		8				8
	合計		0	427	42	526	39	1,034

出典:平成30年度茨城県病床機能報告

人口 10 万人当たりの一般病床数

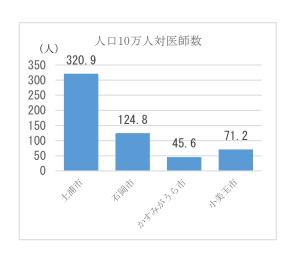
	稼働病床数	人口	人口 10 万対(床)
茨城県	19, 393	2, 920, 391 人	664. 1
石岡地域	420	110,317人	380. 7
石岡市	355	75, 755 人	468. 6
かすみがうら市	2	42, 267 人	4. 7
小美玉市	112	51,508人	217. 4

※人口は平成30年4月1日現在 出典:茨城県の人口(町丁字別)

④ 医師数の状況

茨城県の医師数は、人口 10 万人当たり 189.8 人で、埼玉県に次いで全国ワースト 2 位となっています。人口 10 万人対医師数は、土浦医療圏が 218.8 人、水戸医療圏が 238.3 人と県全体の 189.8 人を上回り、つくば医療圏に次いで県内上位になっていますが、市町村単位で見ると、石岡市が 124.8 人、かすみがうら市が 45.6 人、小美玉市が 71.2 人といずれも全国平均 251.4 人の半分以下であり、医師不足と医療圏内における医療資源の偏在が課題です。





人口 10 万人当たりの歯科医師数,薬剤師数,看護師・准看護師数については,石岡市の歯科医師数,看護師・准看護師数は,全国よりも少ないものの茨城県の人数を上回っています。小美玉市,かすみがうら市においては医師数,歯科医師数,薬剤師数,看護師・准看護師数全てにおいて全国平均及び県平均を下回っている状態です。

医療従事者数(人口10万人対)の比較

(単位:人)

	全国	茨城県	土浦保健医療圏	土浦市	石岡市	かすみがうら市	小美玉市
医師数	251. 7	189.8	218.8	320. 9	124.8	45. 6	71. 2
歯科医師数	82. 4	66.6	79. 9	88. 4	79. 6	45. 6	41.6
薬剤師数	237. 4	227. 4	244.8	295. 2	164. 6	57. 5	75. 2
看護師・ 准看護師数	1160. 1	942. 1	986. 5	1208. 0	1008. 7	201. 4	581.9

出典:茨城県医師・歯科医師・薬剤師調査

医療施設に従事している医師数に着目すると,石岡市の医師数が過去10年間で101名から89名に減少しており,特に診療所の医師数は47名から38名と著しく減少しています。開業医については,石岡市は過去10年で5件が廃業しており,15年以上新規開業がありません。また,医師会会員の平均年齢が63歳と医師の高齢化が進んでおり,今後も医師の減少が見込まれています。

医療施設に従事している医師数

(単位:人)

		平成 28 年 (a)	平成 26 年	平成 24 年	平成 22 年	平成 20 年	平成 18 年 (b)	増減 (a-b)
石岡市	病院	51	51	53	55	52	54	△ 3
	診療所	38	40	41	41	42	47	△ 9
	合計	89	91	94	96	94	101	△ 12
かすみがうら市	病院	0	0	0	0	0	0	0
	診療所	17	16	18	16	14	17	0
	合計	17	16	18	16	14	17	0
小美玉市	病院	18	21	25	19	22	20	△ 2
	診療所	15	15	18	16	19	18	△ 3
	合計	33	36	43	35	41	38	△ 5

⑤ 救急体制について

ア. 初期救急体制

石岡地域の初期救急体制については、内科及び小児科の緊急診療と外科の在宅当番医制で対応しています。緊急診療(内科・小児科)は休日昼間(9時から16時)及び休日夜間(18時から22時)に、石岡市医師会所属の医師(8名)と非常勤医師(県外等)がローテーションで対応していますが、平日夜間は対応していません。今後、医師不足と医師の高齢化などにより、緊急診療の体制維持が困難になることが見込まれます。在宅当番医(外科)は、石岡市医師会病院、石岡第一病院、山王台病院、石岡循環器科脳神経外科病院、八郷整形外科内科病院、府中クリニック、滝田整形外科病院の7病院で対応しています。患者数は近年増加傾向です。

イ. 二次救急体制及び三次救急体制

二次救急体制については,石岡市医師会病院,石岡第一病院,山王台病院,石岡循環器科脳神経外科病院の4病院で輪番制により対応しています。

三次救急体制については,石岡地域には三次救急医療機関はなく,土浦協同病院救命救急センターをはじめとする県内6施設で対応しています。

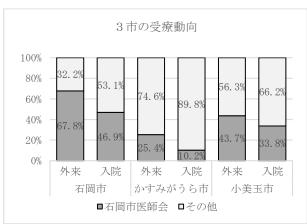
(3) 市民の受療動向

石岡市医師会管内医療機関での受療率は、外来診療では、石岡市 67.8%、かすみがうら市 25.4%、小美玉市 43.7%。入院診療では、石岡市 46.9%、かすみがうら市 10.2%、小美玉市 33.8%となっています。

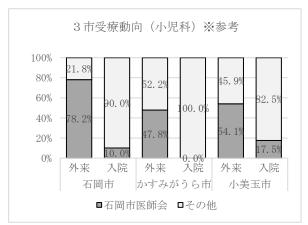
小児科の石岡市医師会管内医療機関での受療率は、外来診療では、石岡市 78.2%、かすみがうら市が 47.8%、小美玉市が 54.1%。入院診療では、石岡市が 10.0%、かすみがうら市が 0%、小美玉市が 17.5%となっています。

入院診療については、3市ともに5割超が管外へ流出しており、特に小児科については3市ともに8割超が管外へ流出している状況です。

将来の人口動態推測から3市ともに人口は減少していく想定ですが、高齢者人口の割合は増加し続け、今後も一定の医療需要は見込まれます。



※2018年(1-12月ベース)国保レセプトデータより
※外来は、歯科・調剤・整骨等除く



※2018年 1か月分 マル福データより

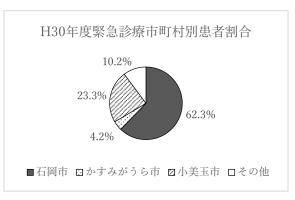
(4) 救急搬送等の実績

① 初期救急の実績

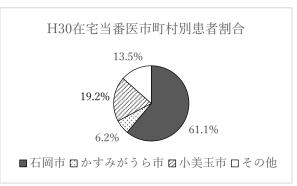
休日夜間の緊急診療(内科・小児科)の患者数は、平成26年度の3,256名から平成30年度は3,517名となっており、年度による増減はあるものの、増加傾向です。市町村別の患者割合は、石岡市62.3%、かすみがうら市4.2%、小美玉市23.3%となっており、3市で89.8%を占めています。

休日の在宅当番医(外科)の患者数は、平成27年度以降ほぼ横ばいとなっています。市町村別の患者割合は、石岡市61.1%、かすみがうら市6.2%、小美玉市19.2%で、3市全体で86.5%を占めます。









② 救急搬送の実績

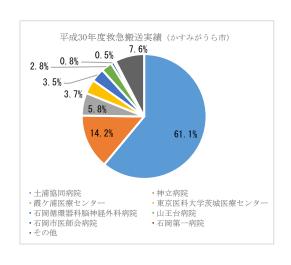
石岡市消防本部の搬送実績については、土浦協同病院(27.8%)へ最も多く搬送されています。 石岡地域の病院では、山王台病院(17.9%)が最も多く、次いで、石岡循環器科脳神経外科病院 (12.6%)、石岡市医師会病院(10.1%)、石岡第一病院(9.5%)となっています。また、全体の 52.9%が石岡市医師会管内、47.1%が管外へ搬送されています。

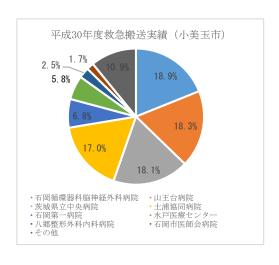
かすみがうら市消防本部の搬送実績についても石岡市同様,土浦協同病院(61.1%)へ最も多く搬送されています。石岡地域の病院では,石岡循環器科脳神経外科病院(3.5%)が最も多く,次いで山王台病院(2.8%),石岡市医師会病院(0.8%),石岡第一病院(0.5%)となっています。また,石岡市医師会管内への搬送は7.6%に留まり,92.4が管外へ搬送されています。

小美玉市消防本部の搬送実績については、石岡循環器科脳神経外科病院が最も多く、全体の18.9%が搬送されています。石岡地域の病院は山王台病院(18.3%)、石岡第一病院(6.8%)、八郷整形外科内科病院(2.5%)、石岡市医師会病院(1.7%)と続いています。全体の48.2%が石岡市医師会管内、51.8%が管外へ搬送されています。

三次救急病院である土浦協同病院への搬送のうち軽症患者の割合は、石岡市が50.8%、かすみがうら市が61.4%、小美玉市が57.9%で、3市合わせると56.0%となっており、石岡地域で受け入れ可能な二次救急患者の受入割合を増加させる必要があります。また、三次救急病院では、救急患者を受け入れるための病床を確保するため、急性期を脱した患者の速やかな転院を促す意向もあることから、石岡地域において回復期患者の受け皿を確保することが必要です。







(5) 主な医療機関の状況

石岡地域の輪番制の4病院(石岡市医師会病院・石岡第一病院・山王台病院・石岡循環器科脳神経 外科病院)の状況については以下のとおりです。

病院名	石岡市医師会病院	石岡第一病院	山王台病院 及び附属クリニック	石岡循環器科 脳神経外科病院
許可 病床数	120 床 (急性期:75 床,慢性期: 45 床)	126 床 (急性期:86 床,回復期:40 床)	109 床 (急性期:山王台病院 52 床, 附属眼科・内科クリニック 19 床, 附属第一クリニック 19 床, 附属第二クリニック 19 床)	63 床 (急性期:63床)
常勤医	4名	12 名	16 名	5名
診療科	内科, 小児科, 整形外科, 泌尿器科, 外科, 皮膚科, 眼科, 婦人科, リハビリ テーション科, 放射線科	内科,外科,整形外科, 小児科,耳鼻咽喉科,泌 尿器科,形成外科,小児 皮膚科,放射線科,歯科 口腔外科,	内科・外科・消化器外科・消化器内科・気管食道外科・呼吸器外科・呼吸器内科・呼吸器内科・脳神経内科・脳神経内科・脳神経内科・財産が大大大大大大・関係が大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大	脳神経外科,神経内科, 心臓血管外科,循環器 科,泌尿器科
強み・ 特徴	・八郷地区の患者のかかりつけ病院・病院の一部で休日夜間緊急診療(初期救急を実施)・人間ドックや乳がん検診等,健診に注力	・地域医療振興協会 の直営病院・平成20年に建替え	・地域の救急搬送を 多く受け入れてい る ・病床利用率が高い	・循環器科, 脳神経外 科の専門病院とし て高度医療を提供 している
課題	・常勤医師とコメディカルの不足により一部休床している・施設や医療機器の老朽化	ィカルの不足	・常勤医師とコメディカルの不足 ・満床により救急搬 送を断る場合があ	・常勤医師とコメディカルの不足 ・専門外の救急受入 により、本来対応す べき専門的な治療 を要する患者の受 入ができないこと がある

第2章 石岡地域における医療の課題

第1章で述べた石岡地域の医療の現状を踏まえ、専門委員会で分析を行ったところ、石岡地域の医療課題は、常勤医及びコメディカル不足、医師の高齢化、医療資源の偏在、初期救急及び二次救急体制の維持、病床の不足、産科・小児科不足などであることが明らかとなりました。

そして、これらの課題に対し、「常勤医師やコメディカル不足は深刻であり、医師が来るような魅力的な環境づくりが必要」、「5年10年先の医療を見据えた救急体制の充実が望まれる」、「病床不足の病院と医師不足の病院があり、地域全体で対策を検討していく必要がある」、「それぞれの病院の強みを生かせるよう病院間のすみわけや連携の強化を図りたい」、「医療体制の充実は雇用にもつながる。行政が支援をしていくことも必要」といた意見が挙げられました。

委員から挙げられた意見をもとに、石岡地域の医療課題を以下のとおり整理しました。

(1) 医療体制について

- ・ 医師とコメディカルの不足,及び医師の高齢化により,緊急診療の継続困難
- ・ 分娩できる施設がない
- 小児科の入院受療率が低い
- ・ 市街地及びその周辺部において、医療機関へのアクセスが難しい地域がある
- ・ 地域医療構想において、回復期病床が不足することが見込まれている

(2) 受療動向について

- ・ 入院は、5割超が石岡地域から流出しており、地域内での入院受入が十分にできていない
- ・ 現在は、石岡地域の病院で受療できている外来診療についても、地域での受け皿が不足すること が想定される

(3) 救急体制について

- ・ 石岡地域での二次救急の受入が十分にできていない
- 三次救急からの回復期の受け皿が不足している
- ・ 5~10年先の高齢者の患者の増加を見据えた救急体制となっていない
- ・ 夜間対応が可能な医師の確保が困難
- 小児救急を市内で受け入れられる体制がない

第3章 課題解決に向けた基本的な考え方

(1) 計画の基本理念

3市の総人口は減少している一方で、高齢者の人口の割合は今後も増えると予測されています。こういった中で、医師の高齢化は年々進み、今後医師数や医療施設数の減少は加速することが見込まれています。こうしたことから、住民への医療提供体制の再構築を早急に進めなければならない状況にあります。

こうした状況の中、地域医療をよりよくしていくためには、石岡地域でのあるべき医療体制を明確にし、地域の実情や特性を踏まえた取組を講じていくことが必要です。このような考え方から「持続可能な医療体制で誰もが安心して暮らせる石岡地域(仮)」を本計画の基本理念とし、石岡地域の市民が、10年20年先も住み慣れた土地で安心して適切な医療を受けることができる体制を実現するために、国及び茨城県の方向性や、医療を取り巻く現状も踏まえた計画を策定します。

第2章までに掲げられた課題について,市単独または医療機関単独での解決は困難であり,石岡地域全体での医療体制の再構築が必要です。これには,若手医師を呼び込むための教育・研修が充実した環境を整えること,小児科の充実や三次救急指定病院からの転院患者を受け入れるための回復期病床が整備されること,現在の初期救急体制の維持,拡充と,二次救急体制の充実を図っていくことが求められます。

その他,医療機関が少ない地域への対応や既存病院との良好な連携体制を維持・構築していくこと が必要であり、これらの政策について地域をあげて取り組んでいきます。

基本理念 持続可能な医療体制で誰もが安心して暮らせる石岡地域(仮)

- 1. 医療供給体制の整備に係る対策
- 2. 医師確保に係る対策
- 3. 救急体制強化に係る対策

第4章 具体的な対策

(1) 取り組むべき時期ごとの対策

具体的な手法については、短期・中期・長期と取り組むべき時期ごとに、医療供給体制の整備に係る 対策、医師確保に係る対策、救急体制強化に係る対策をまとめました。

各対策については,石岡市医師会,医療機関及び行政が各々の状況を踏まえつつ,地域医療に最大限 貢献できるように,優先順位をつけて取り組むものとします。

また、地域の医療機関の良好な連携体制を維持することに留意しながら行うこととします。

① 短期(1~2年)

ア 医療供給体制の整備に係る対策

- ・医療資源の集約化や医師を呼び込める医療機関(中核病院等)の整備
- ・病床機能の転換, 増床
- ・小児科の充実
- ・医療機関の機能等に応じた役割分担の強化
- ・施設や医療機器の維持・更新費用の補助
- ・入院施設のある医療機関の状況等の情報共有ができるような仕組みづくり
- ・医療機関への交通手段の確保(費用補助やオンデマンドタクシー1の整備等)

イ 医師確保に係る対策

- ・マンパワー確保のための補助(通勤,住宅,子育て支援,保育施設の充実等)
- 小児科医の確保
- ・医師に対する様々な PR 活動
- ・大学等への要望活動

ウ 救急体制強化に係る対策

- ・初期救急2体制強化のための補助等
- ・二次救急体制強化のための補助等(実績等に応じた補助も含む)
- ・ICT 等を活用した医療相談(初期救急)

② 中期 (3~5年)

ア 医療供給体制の整備に係る対策

- ・新規診療所・助産院等の誘致・開業支援(資金援助,住宅補助等)
- ・産科の新設
- ・医療資源の偏在や将来の外来診療の受け皿となるような公的診療所の開設
- ・介護老人保健施設等との連携を強化し、速やかな退院調整等ができる体制の構築

イ 医師確保に係る対策

・研修環境の充実(専門医制度3認定施設の確保,指導者の充実等)

¹ オンデマンドタクシー:利用者の予約を集約して運行する乗り合いのタクシー。

² 初期救急:軽症患者(手術や入院治療を必要としない患者)に対する救急医療。

³ 専門医制度:医学部を卒業し,2年間の初期臨床研修修了後,専門医を目指して研修を行う制度。2018年4月より,基本領域専門医と,さらに専門性に特化したサブスペシャリティ領域専門医の二段階制となった新制度が実施されている。

- ・寄附講座4等による医師確保
- ・産科医の確保
- ・石岡地域枠の奨学金制度創設の検討

③ 長期(5~10年)

ア 医療供給体制の整備に係る対策

・在宅診療クリニック5による訪問診療や訪問看護6の充実

イ 医師確保に係る対策

・石岡地域での勤務医が一定期間希望する病院等で勤務できるような研修体制の整備

_

⁴ 寄附講座:民間企業や行政組織などから大学等の研究機関に寄附された資金等や人材を活用し、講座を設置し研究教育を行うこと。病院においては、寄附講座を設置し、教育機関から医師を派遣してもらう。

⁵ 在宅診療クリニック: 医師が定期的に患者のもとを訪れる「訪問診療」や具合が悪くなった時に患者の依頼に基づいて 医師が自宅まで訪ねる「往診」などを行う診療所。

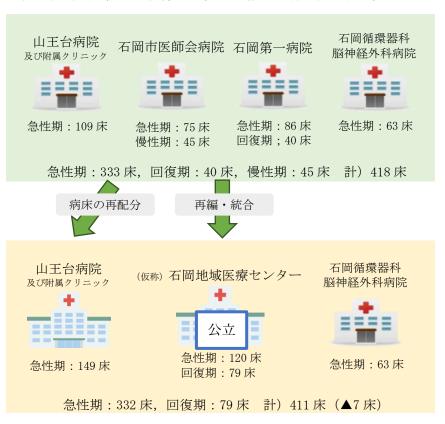
⁶ 訪問看護:看護の専門職(看護師や保健師,助産師等)が定期的に患者のもとを訪れてケアを行うもの。

(2) 優先的に実施すべき対策

第2章で整理された課題及び石岡地域における医療機関の現状等から、総合的な課題の解決に向けて、優先的に実施すべき対策として、病院を再編統合し公立化することと病床の再配分を行います。石岡地域が属する土浦保健医療圏及び水戸保健医療圏はどちらも病床過剰区域であり、増床は認められません。そのため、病床の特例制度を活用します。

ただし、対策を進めるにあたり、下記の留意事項のほか、国との協議や地域医療構想調整会議において議論を行う必要があり、その中で、計画の内容の変更を求められる可能性があることに留意する必要があります。また、設置する診療科や持たせる医療機能について、別途協議を要します。

◆ 石岡市医師会病院と石岡第一病院の再編・統合と山王台病院への病床の再配分



対策による効果 留意事項 緊急診療の維持・拡充 八郷地区の患者の受け皿確保 二次救急患者の受入増加 公立病院設置によって, 民業圧迫にならない ように細心の注意を払う必要がある 回復期病床の確保 小児科の充実 三次救急病院でも医師の確保が困難という現 若手の医師を呼び込む教育・研修の充実(臨 状があり,受け皿を整備すれば医師が確保でき 床教育センター設置等) るという確証も得られないため, 慎重に議論を 行う必要がある ・ 医療体制の整備も重要だが、何よりも地元地 域全体の活性化が重要

(3) 公立病院化の必要性

医師やコメディカル不足により、一部休床を余儀なくされている石岡市医師会病院のほか、多くの病院が医師確保等に苦慮している現状があり、初期救急をはじめとする地域医療を守るため、市の主導による病院の再編統合を行い、医療資源を集約する必要があります。また、民間病院ではカバーできない人口が少ない地域が医療過疎にならないために、つまりは誰一人取り残されない体制づくりをするために、その役割を担う公立病院を中心とした医療体制の整備が必要と考えます。

また,病床を再配分(病床の特例制度)するためには,公的病院を含めた病院の再編統合を行う必要があります。

この再編統合を行うことによって、土浦医療圏の病床数を減らし、民間の担い手がない回復期病床を 増床させることができます。また、病床の再配分により、地域全体の医療資源の有効活用を図ることが できます。

公立病院の設置にあたっては,運営評価委員会を設置し,定期的に運営状況の確認を行うとともに, 経営人材の確保等による経営を効率化するための不断の努力を行います。

(4) 病院の再編統合と病床の再配分による効果

- ① 石岡第一病院と石岡市医師会病院は、内科、小児科等同様の診療科を標ぼうしており、再編統合し、医師やコメディカルなどの医療資源を集約化することで、効率的に病床を稼働させることができると考えます。また、回復期病床を増やすことで、土浦協同病院などの三次救急病院からの患者を受け入れる体制が強化できると考えます。
- ② 山王台病院は、救急患者の受け入れや手術を積極的に行っていることから、慢性的な病床不足であり、病床を再配分することで、山王台病院の医療提供体制の強化を図ることができると考えます。
- ③ 石岡循環器科脳神経外科病院は、肺炎や熱中症など専門外の救急患者を受け入れていることから、当病院を利用すべき患者のための病床を確保できない状態となることがあるが、再編統合により、病院間の役割分担がより明確化することで、専門とする疾患の治療に専念する体制をつくることができると考えます。
- ④ 公立病院を設置し、臨床研修制度により若手の医師を呼ぶことで、休日夜間緊急診療の継続が可能となり、中長期的な視点では、産科を設けることや将来にわたり持続可能な石岡地域の医療体制が確保されることが期待できます。

(5) 課題や留意事項等について

病院の再編統合等による医療体制の整備にあたっては、次のことに留意しながら対策に取り組むべきと考えます。

- ・石岡市医師会病院が担ってきた八郷地区の患者への医療提供体制の確保すること
- ・各病院の役割分担による連携体制の継続し強化すること
- ・早期に産科が設置されるよう努めること
- ・市の一般財源による公立病院のランニングコストの赤字補てんはしないこと

資料編

病院配置状況(令和元年10月1日現在)

所在地		病院名	許可病床	標ぼう診療科
土浦市	1	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院	800	内科, 呼吸器内科, 循環器内科, 消化器内科, 腎臓内科, 血液内科, 皮膚科, リウマチ科, 小児科, 呼吸器外科, 心 臓血管外科, 乳腺外科, 消化器外科, 泌尿器科, 脳神経外 科, 整形外科, 形成外科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 小児外科, 産 婦人科, リハビリテーション科, 麻酔科, 病理診断科, 救 急科, 歯科口腔外科, 代謝・内分泌内科, 人工透析内科, 小児科(新生児), 放射線診断科, 放射線治療科, 血管外科, 脳神経内科
	2	独立行政法人国立病院機構 霞ヶ 浦医療センター	250	内科, 呼吸器内科, 循環器内科, 消化器内科, 腎臓内科, 神経内科, 糖尿病内科, 血液内科, 皮膚科, 小児科, 外科, 呼吸器外科, 心臓血管外科, 乳腺外科, 泌尿器科, 整形外科, 形成外科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 産婦人科, リハビリテーション科, 放射線科, 麻酔科, 病理診断科, 歯科, 歯科口腔外科
	3	医療法人社団青洲会 神立病院	160	内科, 呼吸器内科, 循環器内科, 消化器内科, 腎臓内, 神経内科, 皮膚科, 外科, 消化器外科, 肛門外科, 脳神経外科, 整形外科, 眼科, リハビリテーション科, 放射線科, 麻酔科, 血液外科, 循環器科, ペインクリニック外科
	4	医療法人財団 県南病院	83	内科, 呼吸器内科, 消化器内科, 外科, 脳神経外科, 整形 外科, リハビリテーション科, 麻酔科
	5	医療法人慈厚会 野上病院	28	内科, 外科, 気管食道外科, 整形外科, 呼吸器科, 消化器 科, 循環器科, 肛門科, 緩和ケア内科
	6	医療法人社団誠仁会 都和病院	42	内科, リウマチ科, 整形外科, リハビリテーション科
石岡市	7	一般社団法人石岡市医師会 石岡 市医師会病院	120	内科,皮膚科,小児科,外科,泌尿器科,整形外科,眼科,婦人科,リハビリテーション科,放射線科,呼吸器科,消化器科,循環器科
	8	医療法人幕内会 山王台病院	52	内科, 呼吸器内科, 循環器内科, 消化器内科, 腎臓内科, 皮膚科, 外科, 呼吸器外科, 心臓血管外科, 乳腺外科, 気 管食道外科, 消化器外科, 泌尿器科, 肛門外科, 脳神経外 科, 整形外科, 眼科, 耳鼻咽喉科, リハビリテーション科, 歯科口腔外科, 人工透析内科, 内視鏡外科, 腫瘍外科, 内 分泌内科, 脳神経内科, リウマチ・膠原病内科
	9	公益社団法人地域医療振興協会 石岡第一病院	126	内科, 小児科, 外科, 泌尿器科, 整形外科, 形成外科, 美容外科, 耳鼻咽喉科, 放射線科, 呼吸器科, 消化器科, 循環器科, 肛門科, 小児皮膚科
	10	医療法人八郷病院 八郷整形外科 内科病院	106	内科,外科,整形外科,リハビリテーション科,放射線科,消化器科
	11	社会福祉法人欅会 旭台病院	60	内科,神経内科,皮膚科,小児科
	12	医療法人名風会 久保田病院	40	内科,皮膚科,整形外科,リハビリテーション科
小美玉市	13	小美玉市医療センター	80	内科, 呼吸器内科, 循環器内科, 皮膚科, 外科, 消化器外 科, 泌尿器科, 脳神経外科, 整形外科, 眼科, 耳鼻咽喉科, リハビリテーション科
	14	医療法人白帆会 小川南病院	90	内科,皮膚科,小児科,精神科,整形外科,形成外科,リハビリテーション科,放射線科,呼吸器科,消化器科,循環器科
	15	医療法人社団 美野里病院	111	内科,皮膚科,外科,泌尿器科,脳神経外科,整形外科,リ ハビリテーション科,消化器科,肛門科
	16	医療法人石岡脳神経外科病院 石岡循環器科脳神経外科病院	63	心臓血管外科, 脳神経外科, リハビリテーション科, 循環 器科

出所:茨城県保健福祉部医療局医療政策課 茨城県病院一覧

土浦市・石岡市・小美玉市の病院の医療機能比較

≪土浦市≫

	〇:機能あり 空欄:機能なし	土浦協同 病院	霞ヶ浦医療 センター	神立病院	県南病院	野上病院	都和病院
	災害拠点病院	0					
	臨床研修病院	0	0				
	がん診療連携拠点病院	0					
	茨城県がん診療指定病院		0				
	地域周産期母子医療センター等	0					
	救命救急センター	0					
	救急告示病院	0	0	0	0		
	小児救急医療拠点病院	0					
がん	茨城県地域がんセンター	0					
	地域がん診療連携拠点病院	0					
	茨城県がん診療指定病院		0				
脳卒中	急性期の医療提供	0	0		0		
	回復期リハビリ提供	0	0	0	0		
急性心 筋梗塞	急性心筋梗塞の医療提供	0	0				
肋仗奉	回復期リハビリ提供	0	0				
糖尿病	血糖コントロール困難者への治療提供	0					
	糖尿病合併症の治療提供	0					
	糖尿病性網膜症の治療提供	0	0				
	糖尿病性腎症の治療提供	0	0				
	末期腎不全の治療提供	0		0			

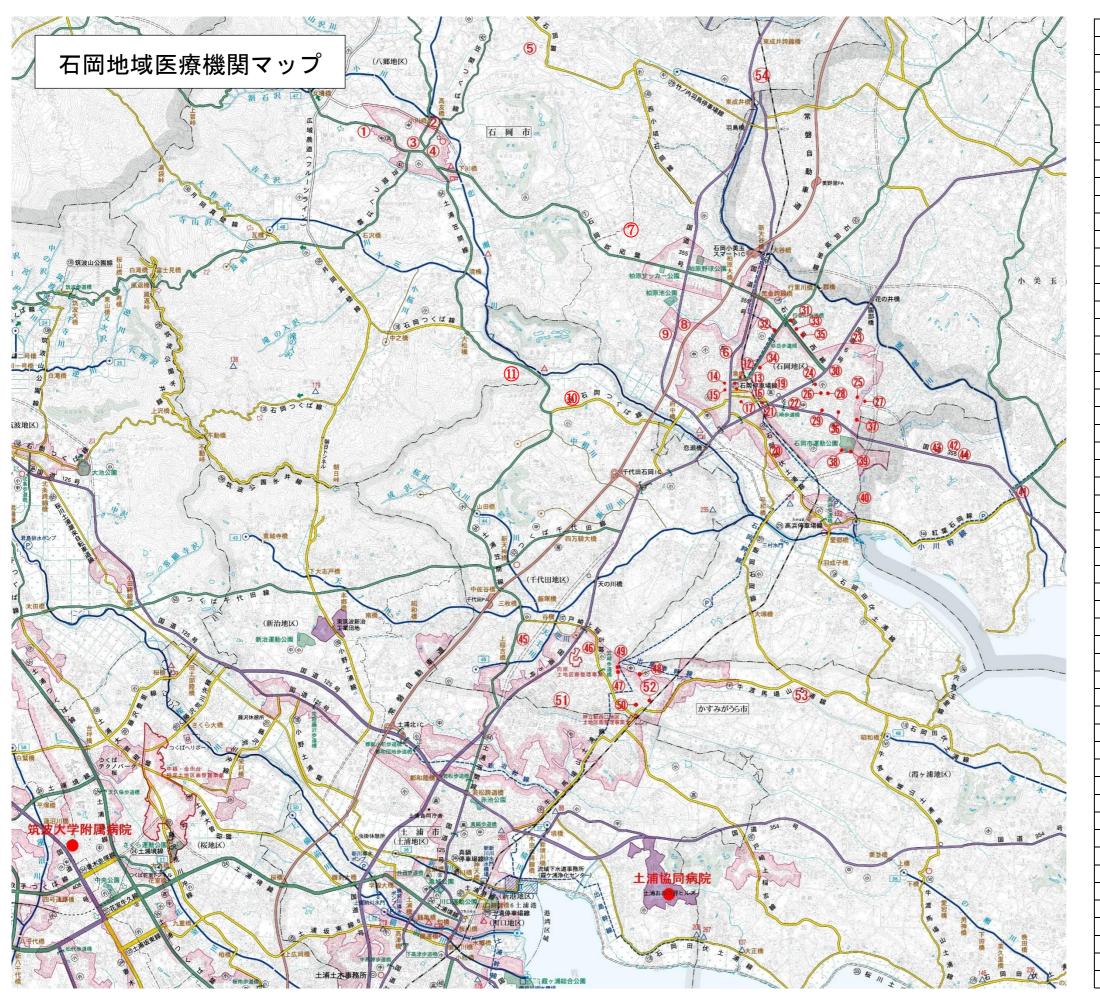
≪石岡市≫

	〇:機能あり 空欄:機能なし	石岡市医師会 病院	山王台病院	石岡第一 病院	八郷整形外 科内科病院	旭台病院	久保田病院
	災害拠点病院						
	臨床研修病院						
	がん診療連携拠点病院						
	茨城県がん診療指定病院						
	地域周産期母子医療センター等						
	救命救急センター						
	救急告示病院	0	0	0	0		
	小児救急医療拠点病院						
がん	がん拠点病院						
	地域がん診療連携拠点病院						
	茨城県がん診療指定病院						
脳卒中	急性期の医療提供						
	回復期リハビリ提供				0		
急性心	急性心筋梗塞の医療提供						
筋梗塞	回復期リハビリ提供				0		
糖尿病	血糖コントロール困難者への治療提供						
	糖尿病合併症の治療提供		0	0			
	糖尿病性網膜症の治療提供		0				
	糖尿病性腎症の治療提供				0		
	末期腎不全の治療提供		0				

≪小美玉市≫

	〇:機能あり 空欄:機能なし	小美玉市 医療センター	小川南病院	美野里病院	石岡循環器科 脳神経外科病院
	災害拠点病院				
	臨床研修病院				
	がん診療連携拠点病院				
	茨城県がん診療指定病院				
	地域周産期母子医療センター等				
	救命救急センター				
	救急告示病院	0			0
	小児救急医療拠点病院				
がん	茨城県地域がんセンター				
13-70	地域がん診療連携拠点病院				
	茨城県がん診療指定病院				
脳卒中	急性期の医療提供				0
加一十	回復期リハビリ提供				
急性心	急性心筋梗塞の医療提供				0
筋梗塞	回復期リハビリ提供				
糖尿病	血糖コントロール困難者への治療提供				
	糖尿病合併症の治療提供				
	糖尿病性網膜症の治療提供				
	糖尿病性腎症の治療提供				
	末期腎不全の治療提供				

出典:第7次茨城県保健医療計画



番号	医療機関名
1	グリーンクリニック
2	丸山荘病院
3	吉川医院
4	江畑医院
5	豊後荘病院
6	府中クリニック
7	石岡市医師会病院
8	田中クリニック
9	藤井内科クリニック
10	川俣医院
11	桜井病院
12	関クリニック
13	石岡眼科診療所
14	滝田整形外科
15	松葉産婦人科
16	岡﨑内科医院
17	石岡診療所
18	石岡整形クリニック
19	芹澤医院
20	富田産婦人科医院
21	ごとう内科
22	山王台病院
23	石岡ひかりクリニック
24	石渡眼科
25	石岡·平本皮膚科医院 羽成耳鼻咽喉科医院
26 27	初成耳鼻咽喉科医院 仲田耳鼻咽喉科医院
28	吉田小児科医院
29	松山医院
30	旭台病院
31	久保田病院
32	杉並クリニック
33	長尾眼科
34	柏木医院
35	石岡第一病院
36	金丸医院
37	渡辺クリニック
38	渡辺内科
39	友部整形外科
40	つくば病院
41	小塙医院
42	やまぐち医院
43	石岡循環器科脳神経外科病院
44	大津内科クリニック
45	MED AGRI CLINIC かすみがうら
46	太田医院
47	大和医院
48	吉田茂耳鼻咽喉科
49	三輪眼科
50	白井こどもクリニック
51	桜井皮膚科医院 京大医院
52	高木医院
53	酒井医院 八郷敷形材制中科病院
54	八郷整形外科内科病院

平成 30 年度石岡市消防本部搬送実績

搬送先病院	所在地	死亡	重傷	中等症	軽症等	計	割合
土浦協同病院	土浦市	8	79	350	452	889	27.8%
山王台病院	石岡市	13	41	181	337	572	17. 9%
石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市	4	39	131	230	404	12.6%
石岡市医師会病院	石岡市	16	37	133	138	324	10.1%
茨城県立中央病院	笠間市	7	23	132	156	318	9.9%
石岡第一病院	石岡市	7	35	116	145	303	9.5%
八郷整形外科内科病院	石岡市	0	26	14	49	89	2.8%
その他		1	46	127	130	304	9.4%
計		56	326	1, 184	1,637	3, 203	100.0%

平成30年度かすみがうら市消防本部搬送実績

搬送先病院	所在地	死亡	重傷	中等症	軽症等	計	割合
土浦協同病院	土浦市	31	93	306	685	1, 115	61.1%
神立病院	土浦市	1	21	83	154	259	14. 2%
霞ケ浦医療センター	土浦市	2	3	49	53	107	5.9%
東京医科大学茨城医療センター	阿見町	2	8	24	33	67	3. 7%
石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市	0	6	14	44	64	3.5%
山王台病院	石岡市	0	4	12	36	52	2.8%
石岡市医師会病院	石岡市	0	1	1	12	14	0.8%
石岡第一病院	石岡市	0	0	3	7	10	0.5%
その他		1	17	62	58	138	7.6%
計		37	153	554	1, 082	1,826	100.0%

平成 30 年度小美玉市消防本部搬送実績

搬送先病院	所在地	死亡	重傷	中等症	軽症等	計	割合
石岡循環器科脳神経外科病院	小美玉市	18	32	101	215	366	18.9%
山王台病院	石岡市	3	23	122	206	354	18.3%
茨城県立中央病院	笠間市	6	30	129	185	350	18.1%
土浦協同病院	土浦市	3	28	107	190	328	17.0%
石岡第一病院	石岡市	2	18	42	70	132	6.8%
水戸医療センター	茨城町	2	22	63	24	111	5. 7%
八郷整形外科内科病院	石岡市		6	9	34	49	2.5%
石岡市医師会病院	石岡市	2	3	19	9	33	1.7%
その他		1	25	97	88	211	10.9%
計		37	187	689	1,021	1, 934	100.0%

小美玉市消防本部

石岡地域医療対策委員会の確認と要望

令和元 11 月 医療法人幕内会



令和元年 11 月 16 日

医療法人 幕内会 理事長 幕内幹男

石岡地域医療対策委員会の確認と要望

21日開催の第4回石岡地域医療対策委員会の内容についての説明 今後のスケジュールについての確認。

1.現在までの委員会では、私共山王台病院および附属クリニックに 40 床 (山王 台病院)の病床を配分となる案がほぼ決まりつつあります。それに関しての質 問を申し上げます

①最終決定がいつ頃になるのでしょうか

石岡市長 今泉 文彦殿

- ②仮に40床が決定となった場合、どのぐらいのタイムスケジュールで病床を 開いていくことを望んでいるのでしょうか
- ③新しい診療科や診療内容について提示する必要があるのでしょうか。ある とすれば、いつ頃まででしょうか。
- ④資金面等の援助があるのでしょうか
- ⑤当方の現状からみた新病棟の計画では

第一案として、現在の老人保健施設「あいあい」をまず近隣に移転して、同 老健施設を病院の病床に充てる。

これには、最低2年半はかかります。

第二案として、病床のみを現在の山王台病院の敷地内に建てる。

これには、2年はかかります。

現在のところ将来的な利便性および診療の充実を図るためには、第一案を 考えておりますが、これらの計画についても詳細に打合せもしくは書類を 提出する必要がありますでしょうか。

⑥これらの遅れをなくすために、当方としては早めに行動に移りたいのです が、またすでに行動に移っているところ、土地の取得等、昭和大学との話 し合い等、すでに進めているところでございますが、資金やスタッフ募集 等の予定があり、現在までの会議では正確なタイムスケジュールが出せな いことが本音です。その点について、どの程度ご了解いただけるのかお教 えいただきたい。

2. 当方の40床病床配分に係る計画案について

- ①第一案として現在の老人保健施設「あいあい」をまず近隣に移転して、同 老健施設を病院の病床に充てる。
- ②第二案として病院敷地内に40床の病院施設を建設する。
- ③新しい診療科、小児科、産婦人科を開設する。既存の診療科を充実させる。 その他医療機器、ICU、救急受け入れ態勢の設備(ER)、手術室、心カテ室 充実させ、放射線治療を設ける。
- ④スタッフの充実を図る。小児科医師、産婦人科医師を新たに雇用する。現 在の診療体制の医師の充実。看護師、その他のコメディカルの新たな採用。
- ⑤①の第一案と同時に、診察室の増室、及びその他の検査室、ICU、手術室などを拡張する。放射線治療室を設ける。

などを出来るだけ早く、方向性を立てる必要性があり、仮に 40 床配分の内定等が早ければ早いほど早く着手できると考えています。それについては、現段階では不明と思われますが、我々の計画もそれに基づいて行われるものであって40 床開設の時期については、その点許容されるべきものと考えており、その点については行政の方でも了解しているものと判断しています。

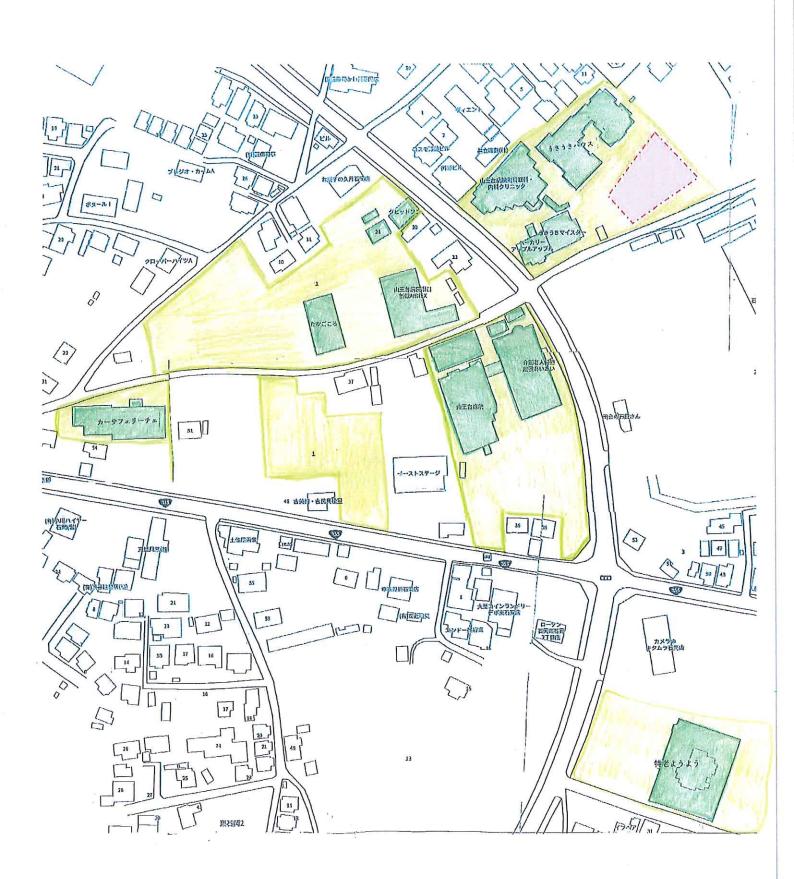
3.要望

再編統合して公立病院(石岡地域医療センター)と、当院の40床の増床配分(増床することによって石岡市の救急、専門医療を充実させるため)が現在までの石岡地域医療に係る対策を検討する専門委員会の決議案と考えられます。

しかし、決議後、再編統合への道筋は大変なものと思われます。当方の病床配分についてもタイムスケジュールや資金、人材確保など大きな課題が残されており、その実現には再編統合同様、大変な道筋で御座います。どの段階で明確な計画を進めるべきかによって、開設時期等も大きく変わってきます。その点に於いては、充分な御理解を頂き、病床配分決定(内定でも)後には、出来るだけ早くご連絡を頂きますよう要望致します。

当院の病床配分によって、石岡地区の医療体制の維持、更に充実はもとより 雇用や活性化にも繋がるものと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し 上げます。

山王台 MEDICAL TOWN



医療法人幕内会増床計画事業 病院再整備スケジュール(新老健建設計画含む)

委託業務内容		2019 年度	2020年度	2021年度	2022年度	備考
		4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	
あいあ	基本計画	計画策定 増床協議	事地 許 司	る) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	最速(増存)	
い改修	基本設計・実施設計	最变(增床	改修計画検討設計 改修基本設計	F(8)	型工事	
(病院化)設計	現あいあい改修工事	可能性担保:		札 DB実施設計(6か月)	DB改修工事(6か月) 病院部分稼働	
工事	本館関連部分改修	のか月早くなる		入居者移動	改修工事 (6か 月)	
関連事業	新老健建設	新老健検討設計	「一	工事(12か月)		
	院内再整備			開所準備	新あいあい老健開所・稼働	15
	山王台病院	52	52	52	52	
-	あいあい改修病棟	0	0	0	40	
病床数	眼科・内科クリニック	19	19	19	19	
数	第一クリニック	19	19	19	19	
	第二クリニック	19	19	19	19	
	病床数合計	109	109	109	149	

